

2011年5月6日

日立化成メキシコで自動車用摩擦材料の生産能力増を決定

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：田中 一行、資本金：155 億円)の子会社である Hitachi Chemical Mexico, S.A. de C.V. (本社：メキシコ合衆国ヌエボレオン州、取締役社長：佐藤計二、資本金：12 百万 US\$、以下、日立化成メキシコ)は、北米における自動車用摩擦材料(ディスクブレーキパッド、以下、自動車用 DP)のさらなる事業拡大を図るため、同社内に約 20 億円を投じて生産能力を増強することを決定し、着工を開始しました。2012 年 8 月完成を目指します。

現在、北米の自動車事業を取り巻く環境は、景気が回復傾向にあることから、原油価格高騰の影響を受けるものの燃費の良い小型車を中心に需要が拡大してきており、今後も底堅い需要が見込まれています。日立化成メキシコは、2010 年より自動車用 DP の量産を開始しましたが、日立化成メキシコの NAO(非アスベストオーガニック)DP 材は、音振性(低ノイズ)や制動性能でお客様に高い評価をいただき、日系、米系自動車メーカーにご採用いただいております。また、物流、品質管理の面でお客様のきめ細かな要求にお応えし、着実に売上を伸ばしています。

今後、事業規模のさらなる拡大を図るためには、生産能力の増強が不可欠と判断し、今般、日立化成メキシコに約 20 億円を投じて建屋、設備等を増設し、自動車用 DP の生産能力を年間 1,000 万個に増強することといたしました。既に 4 月より着手しており、2012 年 8 月の完成に向け建設を進めています。生産能力増強後も複数回の投資を継続し、2015 年には年間 1,500 万個の自動車用 DP の生産を目指します。

日立化成グループの自動車用摩擦材料事業は、メキシコの他、日本、中国、タイ及びインドに生産拠点をもち、欧州においてもブレーキシステムメーカーと共同開発を実施するなどグローバルに展開しています。日立化成メキシコは、品質、短納期対応はもとより当社グループの強みであるお客様密着型の技術サービスを一層強化することにより、最重要マーケットの一つである北米市場の需要を着実に取り込み、事業の拡大を加速してまいります。

<Hitachi Chemical Mexico, S.A. de C.V. の概要>

社 名：Hitachi Chemical Mexico, S.A. de C.V.
所 在 地：メキシコ合衆国 ヌエボレオン州 モンテモレロス市工業団地内
代 表 者：取締役社長 佐藤 計二
事 業 内 容：自動車用摩擦材料の製造及び販売
資 本 金：12 百万 US\$
設 立：2008 年 7 月
株 主：日立化成工業株式会社 99%、Hitachi Chemical Co. America, Ltd. 1%
従 業 員：約 200 名(今回能力増強時)
今回投資額：約 20 億円
生 産 能 力：年間 1,000 万個(自動車用 DP、今回能力増強時)
本 格 稼 動：2012 年 8 月

以上

(報道関係お問い合わせ) 日立化成工業株式会社 コーポレートコミュニケーションセンター

広報担当 長谷川、磯田、施政(しせい) TEL 03-5381-2371

<ご参考>

1. Hitachi Chemical Mexico, S.A. de C.V. (日立化成メキシコ)



2. 自動車用ディスクブレーキパッド

